

秋田県における夏どりネギの育苗法と適品種

加賀屋 博行・吉川 朝美・藤本 順治

(秋田県農業試験場)

Nursery Method and Variety of Welsh onion for Summer Products in Akita Prefecture.

Hiroyuki KAGAYA, Asami KIKAWA and Junzi FUJIMOTO

(Akita Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

秋田県のネギの作付面積は平成4年度510haで、生産量の約7割が秋冬どりで、出荷量の約8割が9月下旬から12月上旬に集中しており、面積拡大及び生産の向上を図るための周年生産技術の確立が求められている。

ネギは土質をあまり選ばず、土壌適応性の幅が広く、その栽培技術は一般化されており全県的に技術基盤がある。また、機械化が進みつつある作物のひとつでもあり、省力的な生産が可能のため、面積拡大ができることと、夏ネギ栽培の導入によって周年生産が図られ、より一層の生産の拡大が可能とみられることから、周年生産に関する試験を実施した中から、1991、1992年に得られた7、8月どり栽培の育苗法と適品種について報告する。

2 試験方法

(1) 試験場所：農試圃場（細粒灰色低地土、'91年は転換4年目畑、'92年は転換初年目畑）

(2) 育苗方法：

育苗法	播種期	定植期	収穫期
① 露地越冬苗	'91. 9. 4	'92. 4. 27	7. 29
② ハウス越冬苗	'90. 10. 16	'91. 4. 24	7. 22
③ ハウス1年苗	'92. 2. 9	5. 7	8. 18

(3) 供試品種：表1、3、5に示す。

(4) 耕種概要：栽培距離：畝幅100cm、株間3cm施肥量(kg/10a)：基肥N、P₂O₅、K₂O各10、追肥N、K₂O各10、苦土石灰100、ようりん50、堆肥1,000

3 試験結果及び考察

(1) 露地越冬苗による7月どり

9月4日播種露地越冬苗の定植時(育苗日数236日)の生育は、草丈20~30cmといずれも定植に適する苗で、十国、東京冬黒で良苗が多かった。抽だいは定植後23日で吉蔵、長宝、明彦、東京夏黒2号、東京冬黒が少なく、その後も吉蔵、明彦は発生が遅かった(表1)。収穫期は本畑生育日数93日後の7月29日となり、株間3.4~5cmと植え付け本数に若干のばらつきがあったが、吉蔵、長宝、明彦は収量、1本重が勝り、太さが揃い、病虫害の発生が少なかった。

表1 露地越冬苗(7月どり)の定植時の生育(1992)

No.	品 種	草丈 (cm)	葉色	良苗 程度	抽だい率(%)		
					5月 20日	27日	6月 22日
1	吉蔵	26.0	濃緑	△	4.5	17.9	35.7
2	長宝	30.0	緑	△	5.2	15.7	59.6
3	明彦	22.0	濃緑	△	4.4	11.1	28.9
7	十国	25.0	濃緑	◎	13.2	48.4	73.0
11	一文字黒昇り	26.0	濃緑	×	16.7	37.5	79.2
12	東京夏黒2号	23.0	濃緑	△	4.1	16.3	43.5
13	東京冬黒	30.0	緑	○	0	24.7	56.3

た。東京夏黒2号は収量及び1本重が勝り、一文字黒昇りは1本重が勝り、東京冬黒は太さが揃っていた(表2)。品質はいずれの品質も光沢、しまり、柔らかさ、食味が良かった。

表2 7月どりネギ(露地越冬苗)の収量(1992)

No.	本数	全長 (cm)	調製重 (kg)	一本重 (g)	太さ(cm)別割合(%)			
					≥2.0	2.0 ~1.5	1.5 ~1.0	<1.0
1	20.0	80.0	3.35	167.5	13.6	59.2	22.7	4.5
2	29.5	87.5	4.18	141.5	5.2	63.8	27.6	3.4
3	22.5	89.0	3.53	156.7	20.0	60.0	20.0	0
7	25.0	88.0	3.15	126.0	20.5	45.5	29.5	5.5
11	21.0	85.2	2.98	141.9	28.6	38.1	33.3	0
12	22.0	79.0	3.35	152.3	22.7	45.5	27.3	4.5
13	25.5	85.0	3.21	126.4	6.0	60.0	24.0	10.0

(2) ハウス越冬苗による7月どり

10月16日播種ハウス越冬苗は露地育苗より良く越冬し、定植時(育苗日数191日)の生育は草丈50~80cm、茎径8~10mm、葉数3~4枚、1本重20~39gと大苗となり、より早い時期での定植が可能であった。定植時の抽だいは在来品種の亀の助を除いては見られず、KA-204、東京夏黒2号、長宝、一文字黒昇りが草丈、茎径、葉数、生体重が勝り低温伸長性に優れていた(表3)。収穫期は本畑生育日数89日後の7月22日となり、株間2.4~3.7cmで1本重100g前後となり、長宝、永吉一本太、一文字黒昇り、えびすは収量が比較的勝り、太さも揃っていた。明彦、吉蔵2号、

東京夏黒2号, 余目一本太, KA-204, 亀の助は収量性が, 聖冬一本太は揃いが良かった(表4)。病虫害の発生は長宝, 明彦, 東京夏黒2号, 東京冬黒, 亀の助が比較的少なかった。品質は光沢では十国が, しまりでは明彦, 聖冬一本太, 東京冬黒が優れた。長宝, 永吉一本太, 一文字黒昇り, えびす, 亀の助は柔らかさ, 食味ともに優れていた。

表3 ハウス越冬苗(7月どり)の定植時の生育 (1991)

No.	品 種	草丈 (cm)	茎径 (mm)	葉数 (枚)	生体重 (g/10本)	葉色
1	吉蔵	51.3	8.2	3.6	206	明緑
2	長宝	61.7	10.4	4.2	388	緑
3	明彦	64.7	10.1	4.1	392	緑
6	吉蔵2号	58.9	8.9	3.7	258	緑
7	十国	54.3	10.0	4.1	308	緑
8	聖冬一本太	53.9	9.1	3.1	236	緑
9	夏帝	59.5	8.5	3.3	250	濃緑
10	永吉冬一本太	57.7	8.7	3.4	242	明緑
11	一文字黒昇り	61.9	10.3	3.8	350	濃緑
12	東京夏黒2号	66.6	10.4	4.2	390	濃緑
13	東京冬黒	64.3	9.6	3.7	328	濃緑
15	余目一本太	81.2	9.2	3.7	350	濃緑
16	えびす	66.2	9.0	3.7	320	緑
18	KA-204	74.7	10.0	4.0	394	濃緑
19	亀の助	51.2	8.1	3.4	239	明緑

表4 7月どりネギ(ハウス越冬苗)の収量 (1991)

No.	本数	調製重 (kg)	1本重 (g)	太さ (cm) 別割合 (%)			
				≥2.0	2.0 ~1.5	1.5 ~1.0	<1.0
1	32.2	2.41	98.6	4.5	36.4	54.5	4.5
2	31.1	2.98	95.7	6.7	66.7	20.0	6.6
3	32.2	3.33	103.4	13.8	41.4	44.8	0
6	34.4	3.28	95.2	5.3	55.9	29.4	8.8
7	30.0	2.61	87.0	10.0	50.0	30.0	10.0
8	42.2	2.78	65.8	0	65.7	34.3	0
9	33.3	2.76	82.7	2.7	48.6	29.7	19.0
10	31.1	2.89	92.9	3.6	71.4	25.0	0
11	32.2	3.06	94.8	6.9	82.7	10.4	0
12	35.6	3.33	93.8	5.4	43.3	37.8	13.5
13	42.2	2.86	67.9	26.3	50.0	23.7	0
15	26.7	2.88	108.3	23.0	50.0	18.2	8.8
16	38.8	3.13	80.6	0	76.6	23.4	0
18	30.0	3.12	104.1	11.1	55.6	29.6	3.7
19	32.2	2.91	104.8	8.0	60.0	32.9	0

(3) ハウス1年苗による8月どり

2月9日播種ハウス1年苗の定植時(育苗日数88日)の

生育は, 草丈34~43cm, 葉数4枚を確保したが, 茎径3.7~4.7mmとやや細く, 1本重2.2~2.8gと小さかった。抽だいはいずれの品種も見られず, 明彦, 吉蔵, 金彦の生育が勝っていた(表5)。収穫期は本畑生育日数103日後の8月18日となった。株間が3.5~4.6cmであったが, 吉蔵, 長宝, 明彦, 金彦は収量, 1本重が勝り太さも揃っていた(表6)。病虫害は発生が少なく, 品質は吉蔵が最も優れたが, 他の品種も光沢, しまり, 柔らかさ, 食味が良かった。

表5 ハウス1年苗(8月どり)の定植時の生育 (1992)

No.	品 種	草丈 (cm)	茎径 (mm)	葉数 (枚)	生体重 (g/10本)	葉色
1	吉蔵	43.0	3.7	4.0	24.0	緑
2	長宝	34.0	4.5	4.0	22.0	緑
3	明彦	38.5	4.4	4.0	28.0	濃緑
4	金彦	36.2	4.7	4.0	22.0	緑
5	元蔵	40.0	4.3	4.0	22.0	緑
12	東京夏黒2号	41.0	4.3	4.0	20.0	濃緑
14	霜耐	39.0	4.2	4.0	24.0	緑
17	冬1号	40.5	4.5	4.0	22.0	緑

表6 8月どりネギ(ハウス1年苗)の収量 (1992)

No.	本数	全長 (cm)	調製重 (kg)	一本重 (g)	太さ (cm) 別割合 (%)			
					≥2.0	2.0 ~1.5	1.5 ~1.0	<1.0
1	23.5	79.2	2.80	119.1	16.3	49.0	22.4	12.3
2	28.5	95.0	3.33	116.7	8.8	40.4	43.8	7.0
3	26.5	95.0	3.15	118.9	17.0	43.4	34.0	5.6
4	28.0	87.0	4.15	148.2	19.6	41.1	32.1	7.2
5	21.5	93.0	2.33	108.1	11.6	41.8	32.6	14.0
12	22.0	67.5	1.25	56.8	18.2	27.3	50.0	4.5
14	24.0	96.0	1.85	77.1	8.3	27.1	50.0	14.6
17	27.0	84.3	1.50	55.6	0	25.9	70.4	3.7

本数、調製重は1㎡当たり

4 ま と め

7~8月どりネギの育苗法と品種について検討した。7月どりネギは, 前年の9月上旬露地播種または前年10月中旬ハウス内播種の越冬苗の4月下旬定植により, 7月中~下旬に3~4t/10aの収量が得られた。8月どりネギは, 2月中旬ハウス播種, 5月上旬定植により, 8月中旬に3~4t/10aの収量が得られた。品種は, 供試19品種の中で, 生育, 収量, 品質が安定している吉蔵, 長宝, 明彦が適し, さらにハウス越冬苗では一文字黒昇り, 永吉一本太, 亀の助が, ハウス1年苗では金彦も有望であった。